

平成 30 年度 第 3 回仙台市泉区区民協働まちづくり事業評価委員会 議事要旨
(平成 31 年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業事業計画説明会及び選考評価)

日 時 平成 31 年 3 月 5 日 (火) 13:15～16:30
場 所 泉区役所本庁舎 5 階 511 会議室

出席者 ○評価委員
岩動志乃夫 委員長, 佐藤重子 副委員長, 中井裕子 委員, 真壁さおり 委員
○事務局
泉区まちづくり推進課

- 次 第
- 1 開会
 - 2 委員紹介
 - 3 諸説明
 - 4 平成 31 年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業 事業計画説明会【公開】
 - 5 平成 31 年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業 選考評価【非公開】
 - 6 閉会

＜評価委員会の付帯意見等＞

・子育て期のママの“孤育て”を防ぎ、ママの“イキイキ”を応援

＜BalletoneERI＞

- (1) 昨年度から比べると活動場所も広がっているように資料から読み取れました。活動の広がり方や本事業の有益性をさらに意識し、活動内容へ反映すると、より良い事業になると思います。参加人数や参加回数などの実績の把握も大切だと思います。
- (2) 前年度は、“ママ”にイベントへの参加の機会を増やすような活動が多かったが、今年度は“ママ”自身も講師として活躍してもらい、活動の幅を広げようとしているように感じました。
- (3) 謝礼金額や広報誌の製作費用の全体に占める割合が高いと感じます。質の良いものを提供するのには賛成ですが、予算も考えて調整してみてもいいのではないでしょうか。

・福祉ポスト設置と福祉ニーズの収集

＜寺岡地区社会福祉協議会＞

- (1) 健康な方だけでなく、体が不自由な方など、外出が難しい方の意見やニーズも伺いたいとのことでしたが、そのような方が福祉ポストを利用するのは難しいと感じ、工夫が必要と思います。しかし、本事業は新しい視点であり、今まで聞くことができなかったニーズを得られるという点で、重要な事業だと思います。福祉ポストが気軽に利用されるには、どのようにすればよいか検討・実践・検証することが重要と考えます。
- (2) 福祉ポストのセキュリティ面が気になりました。個人情報流出や、イタズラへの対策を考慮したほうがよいと考えます。

・深めよう親子の絆！育てよう地域の絆！

＜特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン＞

- (1) 本事業の将来の展望として、地域の方のみで活動を行えるようにしたいとありましたが、現状の参加メンバーが 10 組と少ないため、地域の方をより多く巻き込むなどすることが重要と考えます。
- (2) アルバイト代などの謝礼金額が多く、一部の作業に参加者が関われるなどの仕組みを作ることで、見直すことができると思います。
- (3) 本事業は助成期間最後の 3 年目となり、32 年度から助成が受けられなくなります。今年度から、本事業

の自立に向け、どのような取り組みを行うか考慮して取り組む必要があると考えます。

・地域住民が相互に支え合い助け合う活動の実現

＜やまわ会＞

- (1) 高齢化で福祉ニーズが増えていくのと反対に、町内会など地域団体の後継者が見つからないのが現状です。それに対してやまわ会の取り組みは、地域の様々な団体が連携・協力して地域づくりを行う、「多様な主体の参画と協働」というこれからの取り組みの方向性を示すものと評価します。
- (2) 本事業は助成期間最後の3年目となり、32年度から助成が受けられなくなります。今年度から本事業の自立に向け、どのような取り組みを行うか考慮して取り組む必要があると考えます。

・「七北田お散歩手帖」制作事業

＜郷土史サークルいずみのふるさと＞

- (1) パンフレットを作成し、歴史を広める活動を行いたいという考えは理解しますが、パンフレット作成までの活動内容や、今後の活動についてより明確に計画を立てたほうがよいと感じました。
- (2) 本事業で実働している運営委員の方が10名と少ないように感じました。本事業に対して、もっと多くの地域の方が事業へ賛同し、また活動するようになるとさらによいものになると考えます。今後の活動によって多くの地域の方々の郷土愛の意識が醸成されるよう取り組んでいただきたい。